

## 新規ファイル作成時にファイル名の約束事

### 1. ファイル名は半角で8文字以内にする

通常日本語入力ソフトの「A T O K」や「I M E」が起動中に文字(にほんご)と入力した場合その文字をそのまま[Enter]キーを押せば全角の(にほんご)4文字になりますが、ここで[変換]キーを押して[Enter]キーを押せば(日本語)という全角の3文字になります。

でもこの時、[変換]キーを押さないで[F10]キーを押せば入力された(にほんご)と言う文字は(nihongo)となり、この文字の状態が半角の8文字です。

以上のことから日本語入力ソフトなどが起動中に日本語で入力された文字や、変換された文字は全角表示ですがキーボードで入力された文字をそのまま表示すればその文字が半角であることが解ります。

そして日本語入力ソフトを起動しないで入力した場合は入力した文字はすべて半角となる

### 2. ファイル名はすべて小文字の英数字を使う

ファイル名は上記で述べたように半角8文字以内で名前を付けるのですが、大文字と小文字の混在や大文字だけで名前をつけることを止めましょう。せっかく作成したファイルも自分のマイパソコン内で検証した時は正常にブラウザソフトで見れたのに、サーバにアップロードした場合に見れないことが起きます。この様な場合ほとんどがこの大文字小文字の混在や大文字だけのファイル名によるトラブルです。

ホームページを各サーバにアクセスして見る場合には、ファイル名の大文字小文字をブラウザソフトが認識するので、誤って大文字小文字を自分が作成したHTMLファイル内でリンク先などに指定した場合、そのファイルとリンク先のファイル名が同じでも大文字小文字が違うだけでファイルが無いと言ってエラーが出ます。

このことは、通常ではなかなか見つけることが出来ないエラーとなります。

よってこのようなトラブルを避けるためにも最初からファイル名にはすべて半角で小文字の英数字を使って作成するように習慣づけましょう。

### 3. ファイル名には特殊記号・特殊文字や文字間のスペースを用いない

これもなかなか解りにくいトラブル原因となるもので拡張子のことがあります。

ファイルには半角8文字のファイル名の後に「.」ドットが付いてその後に各ファイルの働きを示す半角3文字の拡張子が付きます。この拡張子を正確に認識できないとファイルがあっても無いと言うエラーになります。

この拡張子を正確に認識させるためにも不用意な特殊文字や特殊記号

そして、文字の間にスペースを付けるのは止めましょう。

以上の事から、正しいファイル名と好ましくないファイル名を数例あげてみます

《正しい例》      index.htm  
                     nihonugo.htm  
                     niho001.htm

《好ましくない例》

|               |                     |
|---------------|---------------------|
| niho97&\$.htm | ・・・特殊文字利用           |
| niho97 .htm   | ・・・文字間に半角スペース利用     |
| index.01.htm  | ・・・「.」ドットが2カ所に付いている |
| niho(01).htm  | ・・・特殊記号を用いている       |